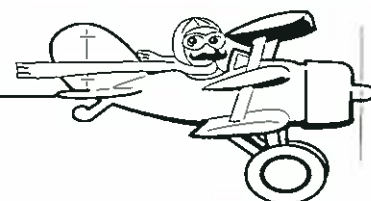


今回のテーマ

保険証券管理表



経営者の皆様は、何種類もの保険に加入されているため、「いざ」というときに、「どこにどのような保険に加入していたのか正確に分からない」ということが大変多いです。

その解決策として加入している保険を管理表にしておくことで、法人契約ばかりか、個人契約、ご家族の保険まで加入内容が明確になり、万が一の時にもしっかり対応することができます。

保険証券管理表のイメージ

契約形態	No.	保険会社	加入年齢	保障内容					保険料			
				保険種類	保険期間	払込期間	普通死亡	災害・傷害	入院	払方	保険料	年間
個人	①	A生命	〇〇歳	終身保険	終身	70歳	30,000,000			月	38,000	456,000
	②	B生命	〇〇歳	定期付終身保険	65歳/終身	65歳	30,000,000	10,000,000	5,000/日	月	23,000	276,000
	③	C生命	〇〇歳	定期付終身保険	70歳/終身	70歳	50,000,000	20,000,000	5,000/日	月	32,000	384,000
個人合計							110,000,000	30,000,000	10,000/日	年間保険料	1,116,000	
法人	①	A生命	〇〇歳	定期付終身保険	70歳/終身	70歳	100,000,000	20,000,000	10,000/日	年	520,000	520,000
	②	A生命	〇〇歳	定期付終身保険	10年/終身	70歳	30,000,000			月	18,000	216,000
個人	③	D生命	〇〇歳	定期保険	70歳	70歳	50,000,000			月	25,000	300,000
法人合計							180,000,000	20,000,000	10,000/日	年間保険料	1,036,000	
総合計							290,000,000	50,000,000	20,000/日	年間保険料	2,152,000	

保険証券管理表のメリット

- ①どこの保険会社に何を請求するかが明確になりますので請求漏れを防げます。
- ②保障に関するダブリや漏れを防げますので、無駄な保険料支出や保障不足が発生しません。
- ③資金使途が発生した際にどの保険を解約して、資金を捻出することがベストか等、保険を財産とした分析がし易くなりますので、経営判断のスピードアップが図れます。
- ④法人契約・個人契約の内容が一覧表で確認できるので、全体のバランスや見直しのタイミング、いくら保険料を支払っているのか等、加入している契約の全てが一目瞭然となります。

今回は、加入している保険契約の整理方法として「保険証券管理表」の作成を紹介いたしました。保険は一つの契約でさえ分かりにくいものです。それが複数の保険会社から法人・個人に両方で加入していれば余計に分からなくなってしまいます。ぜひ実際にご自身が加入している保険の「保険証券管理表」を作成してみましょう。

具体的なお相談に応じますので、お気軽に声をかけてみてください。